

4月26日（土） 令和7年度春季リーグ戦第4節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
神医大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
阪公大	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2x	3x

神戸医療未来大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	廣瀬	3	高知中央	3	0	0	
2	三	直野	4	藤井学園寒川	4	0	1	
3	指	岩本	2	山梨学院	5	1	1	
	走指	片山	4	作陽学園	0	0	0	
4	捕	空處勇	4	生光学園	4	0	0	
5	二	岩城	2	彩星工科	3	0	0	
	走二	石川	3	小松	1	0	0	
6	一	疋田	4	聖カトリナ学園	4	1	0	
7	左	合田	2	社	3	0	0	
8	遊	山口	2	明秀学園日立	2	0	0	
	打右	清水	3	広陵	1	0	0	
9	右	日笠	1	おかやま山陽	1	0	0	
	打	津島	3	栄徳	1	1	0	
	走	井出彩	4	帝京	0	0	0	
	右	柳澤	2	誠恵	0	0	0	
	打	記	3	済美	1	0	0	
	遊	國部	3	花咲徳栄	0	0	0	
投		爲則	1	市立和歌山	-	-	-	
		山田	3	山梨学院	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	5	3	0	0	33	3	2

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	3	府立生野	4	1	0	
2	遊	疋田	4	広島新庄	5	1	1	
3	右	前田	3	須磨学園	3	0	0	
4	一	菱田	2	関西大倉	5	2	2	
5	左	林	2	大阪明星	4	0	0	
6	指	田中創	3	金沢桜丘	3	1	0	
	走指	京橋	4	清教学園	0	0	0	
7	三	田中大	2	彦根東	3	1	0	
8	二	樋口	4	刈谷	3	0	0	
9	捕	小田竜	4	県立伊丹	3	1	0	
投		吉岡	3	大阪明星	-	-	-	
		片山	3	府立池田	-	-	-	
		山本	3	清教学園	-	-	-	
		宮田	2	倉敷青陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	4	3	2	2	33	7	3

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
爲則	9	115	34	30	6	4	2	1	1
山田	2	21	6	3	1	0	1	2	0
合計	11	136	40	33	7	4	3	3	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	6	90	21	19	1	3	2	1	1
片山	3	40	12	9	1	1	2	0	0
山本	1	14	3	3	0	0	0	0	0
宮田	1	19	5	2	1	1	1	1	0
合計	11	163	41	33	3	5	5	2	1

【戦評】

第4節こそは勝ち点を奪い取ろうと、昨日の悔しさを晴らすべく、一致団結して挑みました。

初回、本日の先発の吉岡（法3・大阪明星）は、先頭打者に四球を与えると、内野ゴロ・暴投の間に一塁ランナーは三塁まで進塁し、一死三塁。続く打者の内野ゴロの間に三塁ランナーが生還し、先制点を奪われます。

一方の攻撃では1～3回まで、ランナーを出すことができず、思うように攻めの姿勢を見せられません。

吉岡は調子を取り戻し、3～5回を三者凡退に抑えます。6回には四球を与えますが、落ち着いて後続を打ち取り、追加点を許しません。

4回裏、まずは先頭の根来（経3・府立生野）が死球を受け、出塁した後盗塁を決めます。続く主将疋田（工4・広島新庄）の放った適時打で1点を返し、試合を振り出しに戻します。

5回には二死から、リーグ戦初スタメンの田中大（経2・彦根東）が、安打を放ちますが、得点には繋がりません。

6回裏、先頭の小田竜（工4・県立伊丹）が安打を放ち、出塁します。疋田は、内野ゴロの間に出塁すると、盗塁を決め、前田（現3・須磨学園）が選んだ四球・菱田（農2・関西大倉）が放った安打で二死満塁。しかし、あと一本が出ず、無得点に終わります。

7回からは、片山（生3・府立池田）がマウンドに上がると、持ち前の力強い投球で相手打者を封じます。

攻撃では、7回には田中創（法3・金沢桜丘）が、8回には根来が内野安打を放ちますが、なかなか追加点を得ることはできません。

片山は8・9回と、安打や四死球を許しながらも、決して得点を与えません。

攻守の良い流れを活かしたい9回裏、四球による出塁はありますが、得点を決めることはできず、試合はタイブレークに突入します。

10回表、この回から山本（文3・清教学園）がマウンドに上がります。山本は、先頭打者の犠打で二塁ランナーの三塁への進塁を見事阻止します。後の打者も落ち着いて打ち取り、無失点に抑えます。

10回裏、まずは先頭の樋口（工4・刈谷）が送りバントを決めると、続く小田竜は申告敬遠により出塁し、一死満塁。しかし、阪公大打線は思うようにいかず、無得点に終わります。

11回表、山本に代わり宮田（工2・倉敷青陵）がマウンドを任せられると、送りバント・犠牲フライで1点を返されます。二死から安打を放たれ、次打者の申告敬遠により二死満塁。宮田は粘り強く投球を続け、続く打者を三振に打ち取り、この回を最少失点に抑えます。

なんとか1点は奪い取りたい11回裏、先頭の前田は初球を捉えた送りバントで、野手選択の間に出塁し、無死満塁のビッグチャンス。続く4番の菱田は、チームの期待に応えるようにレフト方向へ適時打を放ち、ランナーが2人生還し、サヨナラで試合終了。3－2で勝利いたしました。